

学会誌『まなびあい』は、

◎「実践と研究の交流の場」をコンセプトにしているコミ福学会らしい、現場を大事にした学会誌

◎学生は大学での学びを、卒業生は現場での実践を振り返る機会とすることができるような学会誌

◎卒業生へ、コミ福の現状やコミ福の仲間たちの活躍を伝えることができる学会誌を目指しております。

◆『研究実践奨励賞』

学会誌『まなびあい』に掲載された作品の中から、優れた研究もしくは実践を奨励し、受賞者には賞状、副賞を贈ることになりました（本学教員が筆頭執筆の論稿を除きます）。

【研究】に関して

卒業論文を、8～10 ページ（1 ページ 1200 字）に再構成し「研究論文」として、

または 6～10 ページに再構成し「その他の原稿」として

投稿することも可能ですので、ぜひこの機会にご活用いただきたいと思います。

また、原稿の長短に関わらず、論文以外の原稿も、『研究実践奨励賞』の対象となります。

【実践】に関して

自身の実践報告はもちろん、“まなびあい”の趣旨に関連する他者の活動報告も歓迎します。

良い活動、良い実践をされている人、

団体の中には、忙しくて文章をまとめている余裕のない方も大勢いる、

そういう方々の実践を評価し奨励しています。

ただし、他者の活動報告の場合、実践が評価されたことによる受賞者は、

執筆者でなく、実践者となります。

◆『まなびあい』第 13 号の原稿募集概要

■原稿の種類

1. 研究論文
2. 研究ノート
3. 実践記録、実践報告
4. エッセイ
5. 現場からの声
6. 卒業生の活動報告（福祉専門分野に限らず、広く募集します。）

7. 在学生の活動報告

8. その他（例：おすすめの書籍・DVDの紹介、高齢福祉職セミナー・コミ福祉協の会など卒業生による活動の報告）

◎新型コロナウイルス感染症が生活に及ぼした影響に関する投稿も歓迎します。

新型コロナウイルスの感染拡大は私たちの生活を激変させ、
自粛生活の長期化は大きな影響と生活環境の変化をもたらしました。
このコロナ禍での気付きや学びを是非、お聞かせください。

■原稿量

1 ページあたりの字数を 1200 字とし、論文は 8～10 ページまで。

研究ノート、実践記録、実践報告は 6～10 ページまで。

書籍の紹介、エッセイ、現場からの声は、1～5 ページまでとする。

その他については、編集委員会が適宜判断を行う。

■締切り

・執筆申請締切り：2020年7月10日（金）

・原稿提出締切り：2020年8月31日（月）

■執筆申請方法

添付の「まなびあい第13号執筆申請書」を入力の上、

コミュニティ福祉学会運営委員会事務局 (cchs@rikkyo.ac.jp) 宛でご提出ください。

※「1. 研究論文」「2. 研究ノート」執筆ご予約の方には、執筆要領をお送り致します。

■原稿提出方法

Word で作成の上、**コミュニティ福祉学会運営委員会事務局** (cchs@rikkyo.ac.jp) 宛でご提出ください。

■その他

・詳細については、コミュニティ福祉学部 HP でもご確認いただけます。

<http://cchs.rikkyo.ac.jp/studies/journal/>

・掲載された論稿は、原則、リポジトリに登録し、オンライン上に公開します。

・オンライン上での公開を希望されない場合は、その旨申請時または投稿時にお知らせください。

・ご不明な点は、事務局までお気軽にお問い合わせください。